

### ■中国高校新人大会■

【男子】

▽予選リーグ

\* A組

総社南 23 (12-5, 11-8) 13 修道

下関中等 27 (13-10, 14-8) 18 修道

下関中等 23 (9-15, 14-6) 21 総社南

❖順位 ①下関中等 2勝②総社南 1勝 1敗③修道 2敗

\* B組

倉敷青陵 15 (8-7, 7-4) 11 飯南

倉敷青陵 17 (8-6, 9-7) 13 倉吉東

飯南 19 (8-8, 11-7) 15 倉吉東

❖順位 ①倉敷青陵 2勝②飯南 1勝 1敗③倉吉東 2敗

\* C組

岡山工 23 (12-9, 11-3) 12 徳山

徳山 19 (7-8, 12-5) 13 松江南

岡山工 31 (15-8, 16-9) 17 松江南

❖順位 ②岡山工 2勝②徳山 1勝 1敗③松江南 2敗

\* D組

下松工 31 (18-9, 13-4) 13 呉工

呉工 28 (18-10, 10-14) 24 米子西

下松工 36 (18-7, 18-5) 12 米子西

❖順位 ①下松工 2勝②呉工 1勝 1敗③米子西 2敗

▽準決勝

下関中等 17 (12-5, 5-10) 15 倉敷青陵

下松工 30 (14-9, 16-4) 13 岡山工

▽決勝

下松工 33 (18-9, 15-11) 30 下関中等

【女子】

▽予選リーグ

\* A組

岩国 17 (10-5, 7-4) 9 松江東

岩国 25 (12-3, 13-1) 4 米子東

松江東 19 (12-5, 7-3) 8 米子東

❖順位 ①岩国 2勝②松江東 1勝 1敗③米子東 2敗

\* B組

岩国商 27 (14-4, 13-4) 8 倉敷青陵

倉敷青陵 32 (16-0, 16-0) 0 賀茂

岩国商 36 (19-2, 17-2) 4 賀茂

❖順位 ①岩国商 2勝②倉敷青陵 1勝 1敗③賀茂 2敗

\* C組

倉敷中央 23 (12-1, 11-3) 4 三津田

倉敷中央 29 (14-3, 15-8) 11 江津

三津田 20 (13-9, 7-6) 15 江津

❖順位 ①倉敷中央 2勝②三津田 1勝 1敗③江津 2敗

\* D組

徳山 27 (10-4, 17-4) 8 米子西

倉敷天城 26 (12-5, 14-4) 9 徳山

倉敷天城 33 (18-1, 15-5) 6 米子西

❖順位 ①倉敷天城 2勝②徳山 1勝 1敗③米子西 2敗

▽準決勝

岩国商 29 (17-4, 12-6) 10 岩国

倉敷天城 14 (6-2, 8-5) 7 倉敷中央

▽決勝

岩国商 30 (15-5, 15-9) 14 倉敷天城

【男子】

▽1回戦 ○17-4 塩江(香川)

▽準々決勝 ○12-11 IDB(山口)

▽準決勝 ○25(16-0, 9-9) 9 綾川A(香川)

▽決勝 ○27(13-6, 14-3) 9 松井が丘(京都)

\*ベストセブン 大崎雄太(向原) 姉ヶ山 怜、中野駿介(小田東)

【女子】

▽1回戦 ●2-6 貝塚(大阪)

▽敗者戦 ○15-2 綾川JrHC(香川)

# 山陽 全国3年連続ならず

## 選抜中国予選

## 県勢、男女とも8強止まり

第39回全国高校選抜大会中国予選、第21回中国高校新人大会は2月6、7日にキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターを主会場に行われ、選抜予選では3年連続3度目の出場を狙った女子の山陽をはじめ広島勢は男女ともベスト8止まりで、全国大会出場はならなかった。

男子は向原、山陽がともに初戦で惜敗。女子は桜が丘が1回戦で松江市女に1点差で敗れ、準々決勝から登場の山陽は2位の高水と顔を合わせ、大差で涙を飲んだ。

決勝は男女とも山口同士の対戦となり、男子は岩国工、女子は華陵が優勝した。3位までが今月25日からグリーンアリーナ神戸などでの本大会に出場する。

中国新人大会は男女とも3校ずつが4組に分かれて予選リーグを行い、各組1位が準決勝に進んだ。

広島勢は男子の呉工が米子西を下し1勝1敗でD組2位となったほかは、いずれも2連敗で3位となり、すべて予選リーグで姿を消した。

男女とも4強は山口、岡山勢が進出、男子は山口勢が決勝で対決、下松工が下関中等教育学校を下し、女子は岩国商が倉敷天城に快勝した。

### ■全国高校選抜大会中国予選■

【男子】

▽1回戦

山陽 20 (9-7, 11-11) 18 江津

岡山理大付 35 (18-4, 17-7) 11 米子高専

▽準々決勝

岩国工 34 (16-6, 18-5) 11 山陽

総社 23 (14-4, 9-8) 12 境

岩国 33 (19-7, 14-11) 18 松江工

岡山理大付 22 (9-7, 13-12) 19 向原

▽準決勝

岩国工 30 (19-9, 11-9) 18 総社

岩国 31 (16-6, 15-14) 20 岡山理大付

▽3位決定戦

総社 27 (17-6, 10-7) 13 岡山理大付

▽決勝

岩国工 34 (14-17, 20-9) 26 岩国

【女子】

▽1回戦

松江市女 17 (9-8, 8-8) 16 桜が丘

高水 40 (21-4, 19-2) 6 米子南

▽準々決勝

華陵 43 (20-5, 23-2) 7 松江市女

倉敷商 24 (14-9, 10-8) 17 境

玉野光南 40 (24-0, 16-4) 4 松江工

高水 31 (13-7, 18-7) 14 山陽

▽準決勝

華陵 36 (21-6, 15-9) 15 倉敷商

高水 27 (16-7, 11-12) 19 玉野光南

▽3位決定戦

玉野光南 43 (22-4, 21-8) 12 倉敷商

▽決勝

華陵 20 (12-4, 8-8) 12 高水

### 高松大学長杯

### 近県小学生大会

## 県選抜男子 Vへ一直線

### 女子は初戦敗退

高松大学長杯近県小学生大会が創設され、2月20、21日に高松大体育館などで行われた。初日は交流戦、第2日にトーナメントがあり、県選抜で参加した男子が見事に優勝した。女子は初戦でつまずいたが、敗者戦で綾川JrHCに快勝した。

関西、中国、四国から男子は16チーム、女子は12チームが参加した。



《近県小学生大会参加メンバー》

◆男子◆

藤元 優 (呉ジュニア・荏山田6)

杉田 優輝 (呉ジュニア・昭和北6)

中本 晴士 (メイプル・東野6)

大崎 優太 (メイプル・向原6)

小野 拓海 (メイプル・大朝6)

姉ヶ山 怜 (安芸高田・小田東6)

品川 隼汰 (メイプル・東浄6)

大田 一輝 (安芸高田・小田東4)

岡田 聖斗 (メイプル・東浄6)

下満 匠馬 (呉ジュニア・明立6)

首藤 颯汰 (安芸高田・甲立6)

中野 駿介 (安芸高田・小田東6)

河上由都輝 (呉ジュニア・昭和北)

小林 瑞生 (メイプル・宇島6)

◎楠原颯馬 (呉ジュニア・白岳6)

花田 諒斗 (メイプル・東浄6)

名前、クラブ名、  
学校名、学年の順  
◎は主将

◆女子◆

山下 菜花 (メイプル・己斐上4)

花田 星奈 (メイプル・東浄5)

◎重本悠宇 (メイプル・己斐上6)

倉岡 優実 (メイプル・己斐上5)

安楽 海心 (メイプル・昭和西4)

田中 志織 (安芸高田・小田東5)

山田 連珠 (安芸高田・甲立5)

丸井 ゆめ (安芸高田・小田東5)

前川奈々美 (安芸高田・小田東4)

小先 芹奈 (安芸高田・小田東5)

1回戦と準々決勝は20分1本。準決勝、決勝は15分ハーフで戦った。

優勝した男子の県選抜は準々決勝でIDBスポーツクラブに1点差で競り勝った以外はいずれも大差での白星。女子は初戦で貝塚パーディーズに屈した。

また交流戦は男子が12試合で11勝1敗の好成績を残し、女子も11試合で8勝3敗の結果だった。

# 呉で12シーズンぶり開催



呉オークアリーナで2月11日、日本リーグが開催され、終盤を迎えた熱戦を楽しみにしたファン1500人余が詰め掛ける盛況ぶりだった。メイプルレッズ対三重バイオレットアイリス、湧永製薬対大崎電気の好カードが生まれ、ワンプレーごとに歓声が響いた。呉でのリーグは2003年10月12日、呉市体育館でのオムロン対ソニーセミコンダクタ、メイプルレッズ対HC名古屋くらい12シーズンぶり。呉市体協創立100周年事業の一環として行われた。

好カードに  
1500人  
オークアリーナ

■湧永製薬 戦いの跡■ 第13週現在

▽28 (13-16, 15-12)	28大崎電気
●26 (14-13, 12-18)	31大同特殊鋼
●22 (9-16, 13-13)	29トヨタ自動車
○32 (18-11, 14-14)	25豊田合成
○31 (16-11, 15-10)	21トヨタ紡織
○34 (15-10, 19-8)	18北陸電力
●26 (13-14, 13-18)	32トヨタ車体
○24 (12-12, 12-9)	21琉球
○31 (11-11, 20-12)	23北陸電力
●21 (12-14, 9-14)	28大崎電気
○22 (11-12, 11-9)	21大同特殊鋼
●18 (10-10, 8-12)	22トヨタ自動車
○27 (13-12, 14-14)	26豊田合成
○24 (13-8, 11-14)	22トヨタ紡織



■メイプルレッズ成績■ 第13週現在

○32 (18-6, 14-12)	18HC名古屋
○20 (11-11, 9-6)	17三重
●14 (5-14, 9-8)	22オムロン
●17 (9-10, 8-9)	19飛騨高山
○39 (21-7, 18-10)	17HC名古屋
●11 (8-12, 3-10)	22ソニー
●14 (8-16, 6-12)	28北国銀行
○20 (11-7, 9-6)	13三重
●18 (7-12, 11-8)	20オムロン
●13 (7-17, 6-15)	32北国銀行

■日本リーグ男子■ 第13週現在

試	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	
①大崎電気	14	12	1	1	25	444	330	114
②トヨタ車体	13	10	1	2	21	374	311	63
③トヨタ自動車	13	9	0	4	18	326	286	40
④大同特殊鋼	14	8	1	5	17	377	339	38
⑤湧永製薬	14	8	1	5	17	366	347	19
⑥琉球	13	6	0	7	12	358	365	-7
⑦豊田合成	15	5	0	10	10	402	432	-30
⑧トヨタ紡織	15	3	0	12	6	343	419	-76
⑨北陸電力	15	0	0	15	0	312	473	-161

■日本リーグ女子■ 第13週現在

試	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	
①北国銀行	11	11	0	0	22	316	175	141
②オムロン	10	8	0	2	16	229	182	47
③飛騨高山	10	4	2	4	10	158	192	-34
④ソニー	10	4	1	5	9	197	175	22
⑤メイプル	10	4	0	6	8	198	208	-10
⑥三重	11	3	1	7	7	187	217	-30
⑦HC名古屋	10	0	0	10	0	159	295	-136

## 松村、リオへ最後の挑戦

18日から仏で世界最終予選

### 強豪オランダ、フランスと同組



リオデジャネイロオリンピック出場をかけた最後の戦い、世界最終予選が18日から3日間、フランス、デンマーク、ロシアで行われる。残る出場枠は6つ。日本など12カ国が4カ国ずつ3組に分かれ、それぞれ上位2カ国にリオへの道が開ける。日本はフランス・メッセを会場に世界選手権2位のオランダ、同7位で地元のフランス、チュニジアと同じ組に入り、総当たりで戦う。おりひめジャパンにとっては厳しい戦いが予想されるが、国内合宿を経てハンガリーで直前合宿を張って本番に備える。メイプルレッズからただ一人選出のサイド松村杏里がどんなプレーでリオを手繰り寄せるか、活躍を期待したい。

# JHL 大詰め

日本リーグのレギュラーシーズンは大詰めを迎え、男女ともプレーオフ進出の4強入りへ激しい順位争いを繰り広げている。ケガ人続出の湧永製薬は再開後に大同特殊鋼、トヨタ自動車、豊田合成、トヨタ紡織九州を相手に3勝1敗、2試合を残しプレーオフへ希望をつないでいる。一方のメイプルレッズはソニーセミコンダクタ、飛騨高山と激しく競り合っており、ライバルとの対戦となる残り2試合が勝負を分ける。

## 湧永新加入の原・矢田が得点量産

メイプル3年目加須屋 ブレイク  
チーム最多の44点 ランク4位



新加入の原(左)と矢田

若い力が湧永製薬、メイプルレッズの活性化に貢献している。

湧永の新加入、原健也(日大)が2月14日の大同特殊鋼戦でチーム最多タイの7得点、しかも追撃へののろしを上げるゴールに続き終了20秒前に決勝弾と大暴れ、打倒大同のヒーローに躍り出た。また矢田路人(大体大)も豊田合成戦で最多タイの8得点とゴールを量産した。メイプルレッズであればれなのが3年目の加須屋朝耕。金監督の起用がズバリ当たり、7MTを含め44得点とチーム最多で得点ランキング4位。「今は最高に楽しい。もっともっと頑張る」と笑顔。若返った中での大ブレイクだ。

## 個人賞争い

日本リーグが終盤に差しかかると、順位争いとともにも注目を集めるのが、個人タイトルの行方だ。得点王、フィールド得点賞などのほか、GKではシュート阻止率賞や7MT阻止賞などがある。シュート阻止率賞争いで3位をキープしているの

シュート阻止率 志水3位 7MT阻止 板野4位



解説する青戸さん

## 青戸さんがソニー戦をTV解説 NHK

山陽高女子監督でメイプルレッズ7連覇に貢献した青戸あかねさんが1月30日、東区スポーツセンターで行われたメイプルレッズ対ソニーセミコンダクタ戦のNHKテレビで解説を務めた。この日の中継は広島地方と鹿児島地方で放映された。元日本代表の主将を務めた青戸さん。さすがに試合の流れ、個々の選手のプレーなどを詳細に、しかも分かり易く話し、中継を担当した高木アナウンサー(中央)も「立派な解説でした。やはり豊富な経験がある人ならではの話しっぷりだった」とうなずいていた。青戸さんは「最初はちょっと緊張した」と苦笑いながら、ホッとした表情を見せた。

が湧永のベテラン守護神・志水。2試合を残した時点で493本シュートのうち192本を阻止、0・389。注目はメイプルの新人GK板野。7本スローを6本止め、0・286で堂々と4位にランクしている。フィールド得点は高山が41で5位につけている。